

◆レポート記載要領（よくお読みください）◆

- 更新研修は、「(研修) 認定精神保健福祉士」となられてからの5年間の振り返りと、更新研修修了後の5年間で大切に過ごしていただくことに焦点をあて、自らの専門性の点検と実践課題の明確化、後進育成の役割などを、より意識していただく内容です。
- レポートは、「スーパービジョンのためのレポート」「演習のためのレポート」の2種類あり、申込書とともにご提出いただき、確認後に受講決定となる仕組みです。
- レポートは、「スーパービジョン (SV)」、「演習」のグループ討議で活用するため、同グループ内の受講者に事前配布します。どの方の（或いは全員の）レポートを検討するかは班内で協議いただきます。Zoom ミーティングでのSV・演習という性質上、回収はできません。ご作成の際は事例の記載などについて、十分ご留意ください（保管には参加者相互の守秘義務の徹底を呼びかけるとともに、提出いただいたレポートは本協会研修センターで厳重に保管します）。
- レポートの各発表時間は3～4分となっております。

演習のためのレポート

【作成上の留意点】

- 本レポートにおける各項目（記載欄）には、必ずご記入ください。
- 〈項目1. 主な社会的活動〉の社会的活動には、生活者としての地域諸活動も含まれますし、例えば「(都道府県協会・支部での立場、所属機関地域や居住地域等での地域活動における役割など。例：〇〇協会理事、〇〇審査会委員、〇〇地域ボランティア等)」なども含まれます。
- 役割等がなく、やむを得ない場合は「なし」とご記入ください。なお、「なし」とご記入してご提出できるのは、本レポートの項目1のみです。
- 〈項目2. 自身の役割や活動〉では、前回の研修からの5年間、精神保健福祉士の質の維持・向上等にあなたはどのように努めてこられたか、ご自身の活動の振り返り、意識の変化などグループ内で共有できるような記載をしてください。例えば「都道府県協会・支部での活動や研修への参加状況、地域活動への参画状況、各団体での役割、ソーシャルアクションの概要など」の取組みも含まれます。なお、役割・活動等の羅列は認められません。
- 〈項目3. 地域や都道府県協会・支部等での活動を通し感じる課題〉では、ソーシャルな視点に基づいて、「実践を通して感じておられる地域課題」や「ご自身が所属している都道府県協会・支部等の日頃の活動や自身の役割に対する実践課題」と「その地域課題や実践課題の解決に向けた自身の取組み・工夫・考え等」について記載してください。